

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスラテラルクラブ谷山中央		
○保護者評価実施期間	R6年 4月 1日		～ R6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R6年 4月 1日		～ R6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門のトレーナーによる運動療育を取り入れることにより、本格的でより幅の広い支援を行うようにしている。	楽しみながら無理のないトレーニングを行い、体幹やバランス感覚等を強化しながら身体能力及び社会適応能力の向上を目指している。	今後は、チームで取り組んだりしてチームプレーの重要性を訴求し、集団行動の基盤づくりを行う。
2	多彩なプログラムを実施していくことにより、表現力や自己肯定感、コミュニケーション能力の向上等に繋がるよう支援している。	色々な体験や経験が出来るよう、多種多様な室内プログラムや外出プログラム案を話し合い、充実した支援が出来るように工夫している。	保護者や児童の意見を取り入れながら、意欲的に参加できる活動を取り入れ充実した支援が行える様にする。
3	広い空間で行う運動や遊びを通して、人間関係の構築・経験等5領域に繋がるような支援を意識的に行っていくことにより、児童の持っている能力の強化・充実を図っている。	楽しい雰囲気作りをしながら、児童がコミュニケーションを取りやすい環境作りを意識的に行うことにより、体力作りだけでなく健康的な精神育成にも力を入れ、児童の成長に繋がるよう行っている。	初めてのことや、苦手な事にも積極的に参加できるよう声掛けを行い、社会性やコミュニケーション能力の向上等に繋がるような支援をしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の年齢にばらつきがある。	児童によっては、ルールを理解やコミュニケーションスキルに差がある。	低学年でも高学年でも楽しく参加できるプログラムの作成に努める。
2			
3			